

# 大田区世界ぐらむり

## 声優 倉富亮

くイランと時代と伝統とく

モハマッド・シャハラム  
ペルシャ絨毯協同組合理事  
絨毯のプロフェッショナル

倉富亮  
声優  
声のプロフェッショナル

シーズン  
3!!



【Photo by David Stanley】

ミールを振り回す男たち。奥には歌と太鼓で音頭をとるモルシエドが見える。他にも弓や盾のような器具もある。

■ 気温も上がり、いよいよ夏が近づいてきた。身体を活発に動かすにはいい頃合いだ！日本では野球・サッカーが人気だけれど、オリンピックも近づいてきている事だし海外のスポーツにも触れてみるのもいい機会かもしれない。(実は泳ぐこと以外運動が苦手というのもあるけれど)とはいえ、知らないスポーツには触れようが無い。今回は西馬込駅前にある「アール・パズリック」代表取締役のモハマッド・シャハラムさんに、イランの伝統的なスポーツについて聞いてみた。

### イランの国技？

Q イランで有名なスポーツはなんですか？

A 一番有名なのはレスリングです



【Photo by Bernard Gagnon】

腰近くまで掘り下げられた円形舞台。ここに子供からお年寄りまで集まり日々鍛錬を続けていく。

Q 確かにレスリングは強いですが、何か理由が有るんですか？

A 骨格がしっかりしているというのがあります、イランにはズールハーネという国技があって、これで体を鍛えています。1メートルくらい掘り下げた円形の舞台に男性みんなが集まって、歌に合わせて様々な道具を使い精神と肉体を鍛錬するんです。格闘技とは違い勝敗を決める様なものではなく、自身を高めることに重きを置く伝統的なスポーツですね。

Q これは、すごいですね！雄々しいというか猛々しいというか！男らしさ満点！

A 確かに！私の父の時代では『ズ

ールハーネをしていないと男じゃない!』みたいな風潮はありましたね。でも今はそういったこともありません。私も、みんなが集まって体を鍛えるという場が好きだったのでズールハーネをやっていました。この一升瓶のような形のもはミールと言うんですが、重いもので1本30キロあります。これを頭の横まで持ち上げてぐるぐる回すんです。多分、武器を振り回す動きから来ているんじゃないかな?あと寝転がって盾を上を持ち上げる鍛錬もあるんですが、重いもので片方100キロあります。大人1人より重いんです!あまりの重さに一度潰されかけて酷い目に遭いましたよ。(笑)

**イランといえば市ねじり!**

**Q** イランといえばペルシャ絨毯ですよね。すみません、俗っぽいです。私が僕の持つペルシャ絨毯の印象といえば『値段が高い』『お金持ちの持ち物』『部屋に合わせにくい』なんですけど……。

**A** 全然違いますよ!イランでは就職した時、一番に買うのが自分の絨毯なんです。車を分割して買うように、絨毯を分割して買う。車は5年で価値がなくなりますが、良い絨毯は長く使えます。アンティークになり、売るときには資産になります。ペルシャ絨毯の利点はその丈夫さにもあります。何十年、場合によっては何百年も使えるんです。この店の名前であるアールパズリックはパズリック渓谷で発見された世界最古のペルシャ絨毯『パズリック』からきています。2500年前の絨毯がほぼ完璧な形で発見されているんです。日常的に長く使えて資産価値がある、そういった意味では高いわけでもお金持ちの持ち物でもありません。部屋に合わせにくいというのは、インテリアデザインの順番にあるかも知れませんが、日本ではソファやカーテンを始点として部屋をコーディネートしていきませんが、イランではまず絨毯から始めて部屋の様子を整えていくんです。

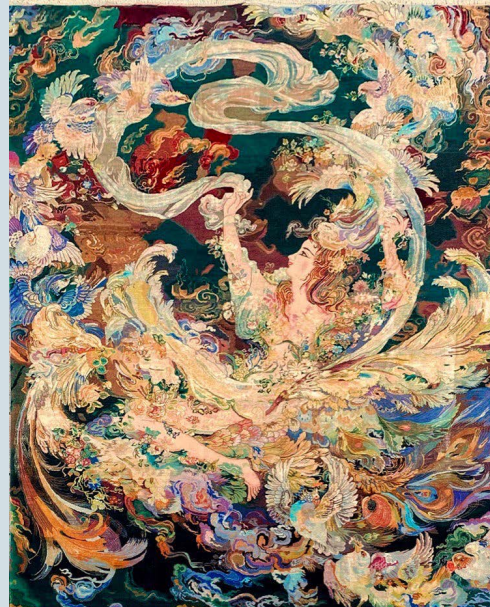
**Q** ここからも見えています。本場に素晴らしい柄ですが、これが部屋を中心にあれば心が華やぐと思います。

**A** 絨毯はアートなんです。この店には機械織りの絨毯はなく、すべて職人の手織りです。人の手によって、最低でも2年、も

のよって4年以上かけて織られます。アンティークの絨毯などは蚕の外側の糸は使わず中糸のみを紡いで織られていたりもしますね。触ってみますか?  
**Q** おお?!本場にアンティークなんです。吸い付くように滑らかですね!  
**A** そうでしょう?お店ではこういった器具で手入れも欠かしません。倉富さんも皆さんも、お家に一枚いかがですか?  
**■** 絨毯から始まる新しい生活。いいなあ、想像が膨らみますね!



我々が思い描くペルシャ絨毯。その想像を1つも2つも上回る、正にアート作品としか捉えられない物が本場のペルシャ絨毯だった。店では丹念に作品のケアが行われる。



今年で創業30年!  
 ペルシャ絨毯・西洋骨董  
 アールパズリック

【住所】 東京都大田区南馬込5・42・10・101  
 【TEL】 03・3776・0711  
 【営業時間】 午前11時〜午後6時  
 【定休日】 日曜日

発行: 大田区  
 バックナンバー  
 過去の記事は  
 こちら⇒

